

りよくないしょうほっさ  
**緑内障発作**

【緑内障発作とは．．．】

突然、目の圧、つまり、眼圧が高くなり、目が非常に硬くなる病気です。強い眼痛、頭痛、吐き気等が起こり、目は強く充血して赤くなり、瞳は大きく広がって目がかすみます。

【原因は？】

目の中に栄養をゆきわたらせる液体を房水といいます。この房水の流れが急にわるくなって、突然眼圧が高くなるのが原因です。房水の流れがわるくなる原因は遺伝、年齢、眼内の炎症、糖尿病、眼底出血など様々です。遠視のかたは緑内障発作を起こしやすい傾向があります。

【治療】

応急処置として、点滴、内服薬、点眼薬を使って、眼圧をある程度まで下げます。その後、房水の流れがよくなるように、レーザー光線で虹彩（茶目）に穴をあけます。穴があけば、眼圧は下がり、眼痛、頭痛、吐き気などはおさまります。発作を起こさなかった方の目も同じように発作を起こす危険性が高いので、予防的にレーザー光線で虹彩（茶目）に穴をあけておきます。なお、穴をあけるさいには痛みはありません。

【どれくらいみえるようになりますか？】

残念ながら、一度発作を起こした目はほとんどみえるようにはなりません。瞳も広がったままになります。ただし、予防的にレーザー治療を行った方の目には、発作は起こりません。

【注意点】

極端に辛い物や刺激物はよくありません。また、カフェインを含む飲物（コーヒー、紅茶、緑茶、一部の風邪薬）もよくないとされています。その他、大量の水分を一度にとったり、首のきゅうくつな服、過度の喫煙、長時間うつむくことなどは避けたほうが良いといわれています。

日帰り白内障手術施設

**眼科 中橋クリニック**



**7 5 2 - 8 8 1 8**